

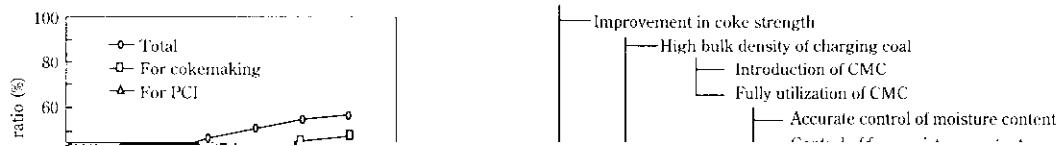
卷頭言

副社長 今井卓雄



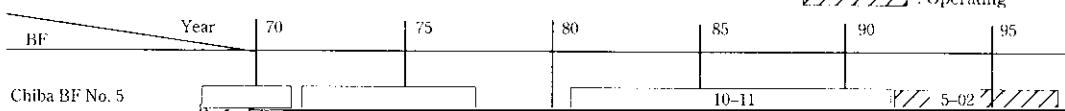
当社が1953年に千葉第1高炉の火入れを行い、平炉メーカーから戦後初の一貫高炉メーカーへと躍進。その後、世界初の連続式酸素供給装置を実用化するなど、技術開発で世界をリードする企業へと躍進。今後も、技術革新を通じて社会に貢献してまいります。

高炉の操業技術の発展は、当初、経験工学から出発したが、化学工学的プロセス解析を積み重ね、再度にわたるエネルギー危機後の低成長時代に入って行った高炉の解体調査でようやく高炉内のプロセスの理解が深まった。高炉の実操業において幾度かの厳しい試練を経験したが、この間のハード、ソフト両面での技術開発の蓄積により、海外への技術輸出を含め、内外にその成果を問えるまでに進歩した。



Figures mean Year-Month of service

||||| : Operating



- 6) 松井 貴、井川勝利、反町健一：材料とプロセス、**8**(1995), 918
7) 井川勝利、反町健一：材料とプロセス、**8**(1995), 659
27) 大神正通、兼田経博、宮田 淳、谷吉修一：材料とプロセス、**7**(1994), 149

(1993), 63

- 9) 安藤 猛、高平拓也、笠岡玄樹：材料とプロセス、**8**(1995), 971
10) 高平拓也、安藤 猛、笠岡玄樹：材料とプロセス、**9**(1999), 646
11) 小久保信作、駒村 一聖、杉邊英孝：材料とプロセス、**8**(1995), 127
12) 笠岡玄樹、安藤 猛：川崎製鉄技報、**29**(1997)1, 11
13) 松井 貴、花岡浩二、主代晃一、井川勝利、反町健一：材料とプロセス、**7**(1994), 924

(1994), 1048

- 29) 武田幹治、板谷 宏、E. C. Lockwood：材料とプロセス、**6**(1993), 921
30) 石渡夏生、内山 武、武田幹治、板谷 宏、佐久間義朗、西村博文：材料とプロセス、**8**(1995), 325
31) 武田幹治、石渡夏生、内山 武、板谷 宏、E. C. Lockwood：材料とプロセス、**9**(1996), 2